

災害への備えをしましょう

大雨や台風などの自然災害から自分の身を守るには日頃からの備えが大切です。

市では、さまざまな災害に対する知識と備えをまとめた「わが家の防災マニュアル」を市ホームページに掲載していますので、ぜひご活用ください。



こちらからアクセスできます→



命を守る行動(避難行動)を

災害の恐れが高まった場合、大雨や洪水など防災気象情報や避難に関する情報が発表されます。危険を感じたら、命を守る行動(避難行動)をとりましょう。

災害時の避難は、指定された避難所へ移動すること(水平避難)だけではありません。外へ避難することに危険を伴う場合は、自宅や近隣の建物の2階以上など、より安全な場所へ一時的に避難(垂直避難)しましょう！

例) こんな場合は垂直避難をしましょう

- ・夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所が分かりにくい
- ・膝上まで浸水している(50cm以上)
- ・浸水は浅いが、水の流れが速い
- ・用水路などの位置が不明で転落の恐れがある



特に、造成地や崖の付近にお住いの人は、今後の雨の降り方によっては地盤が緩み崩れる可能性もあります。濁り水が出る、異様なにおいがするなど、土砂災害の前兆現象が見られないか注意しておく必要があります。



大分市
防災危機管理課
大戸 匠

避難行動の原則は、災害の危険性のある浸水想定区域や土砂災害警戒区域の外へ出る「立ち退き避難」です。日頃からハザードマップなどを確認しておきましょう。

今年の出水期(6月ごろ)から市では警戒レベルによる避難情報の発令を行います。そこで、住民の皆さんには警戒レベルに応じた適切な行動をとっていただきたいと思っています。

まず、気象庁から大雨注意報などが発表された場合は、「警戒レベル2」です。

お住いの地域に応じて、今後警戒レベルが引き上げられた際に適切な避難行動が取れるよう準備をしておきましょう。

インタビュー

自分たちの身を守るために
日頃から災害への準備を



地域には一人で避難することができない人もいます。可能な範囲で、一人暮らしの高齢者に声掛けするなどして、隣近所をろって早めに避難できるといいですね。

市から「警戒レベル4」が発令された場合は、対象地域内の人は、全員、速やかに避難行動を取るようになっています。また、ペットを飼っている人は、同行避難ができるよう、日頃からペットの健康管理やしつけをきちんとしておきましょう。

警戒レベルによる避難情報の発信を始めます

「平成30年7月豪雨」では、気象庁が大雨特別警報等の緊急会見を行うなど、重大な危険があることを、マスコミを通じて事前に広く伝えるとともに、各市町村も避難勧告を発令するなど、住民の避難行動を促す情報が多数出されました。しかし、避難せず、自宅に留まったために多くの尊い命が失われました。

このことから、内閣府は平成31年3月に「避難勧告等に関するガイドライン」を改定し、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、今年の出水期(6月ごろ)から避難情報を5段階の警戒レベルでお知らせすることとなりました。

警戒レベルは4です！
ただちに避難してください！



警戒レベル
5

すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
災害発生情報…河川の氾濫等

警戒レベル
4

全員避難

速やかに避難場所へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内の安全な場所に避難しましょう。

避難情報…避難勧告
避難指示(緊急)

警戒レベル
3

高齢者等は避難

避難に時間を要する人(高齢の人、障がいのある人、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

避難情報…避難準備・高齢者等避難開始

警戒レベル
2

避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。

防災気象情報…大雨注意報
洪水注意報

警戒レベル
1

災害への心構えを高めましょう。

防災気象情報…早期注意情報(警報級の可能性)

※警戒レベル1～2は気象庁等が発表。警戒レベル3～5は市が発令します。

Point

風水害時の安全確保のためには、早めの避難が大切です。上記の情報に留意し、早めの避難を心がけましょう！

万全ですか

大雨・台風対策は

大雨・台風シーズンが到来します。皆さんは避難が必要になったときの対策はできていますか？万が一に備えて、避難所や避難経路などを家族や地域で確認しておきましょう。

防災危機管理課 ☎537・5664

